



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

学校ブロック塀等の安全対策に関して申し入れ

6月18日の大阪北部地震で、学校のブロック塀などが倒れ児童や高齢者が亡くなりました。6月26日、日本共産党市議団は、日野市に対して学校ブロック塀や通学路の点検と安全対策の実施、ブロック塀を生垣にするための補助金制度の復活を求める要請を行いました。

現在、日野市は、学校や公共施設の調査を行い、学校や通学路を最優先に対応し、その後全市的な対応を考えているとのこと。

2007年に問題認識しながら

対策が取られなかった六小

2007年新潟中越沖地震の際、ブロック塀の倒壊が起き、学校や通学路のブロック塀の安全性が問題となり、私も同年9月の決算委員会で質疑をしています。

その時、日野市は、小学校12校、中学校6校で5段以上のブロック塀があること、六小については「毎年庶務課で行っております学校の現地調査の中では、若干、これから考えなければいけないところということで、既に計画を策定しようと検討をしているところでございます」と答弁しています。しかし、その後対策は取られていませんでした。



四中 プール南側の塀 約3m



六小 西側のブロック塀はガードレールがあり、逃げられない

補助金復活して、ブロック塀から生垣への転換推進を

「ブロック塀を変えたくても撤去費用がかかる」という声も聞きます。

革新市政時代の1989年に日野市は、緑豊かなまちづくりの実現と、安全で快適なまちづくりを推進するために、生垣やブロック塀撤去に対する補助制度を創設。生垣設置には1m当たり5,000円、設置に伴うブロック塀の撤去は1m当たり3,000円を上限に補助を行っていました。

しかし、2017年この制度は廃止され、記念樹や生垣の苗木代補助制度（上限1万円）になってしまいました。

鎌倉市では、生垣補助は補助率2分の1、上限15万円。生垣設置の際にブロック塀の撤去も合わせて行う場合は補助率が3分の2に引き上げられます。また、ブロック塀の撤去に対する補助金もあり、補助率は2分の1、津波浸水想定区域については補

助率が10分の9に引き上げられます。

日野市でも、鎌倉市のような思い切った補助を行って、緑と清流のまち、安全なまちづくりを大いに推進すべきではないでしょうか。



畑だより...

7月1日号広報の表紙は、私が借りている農園の園主小林さん。小林さんの後ろに広がる麦畑は、TOYODABEERの原料となる大麦。

今年初めて、日野産の大麦だけでつくったTOYODABEERが作られるとのこと。

TOYODABEERは、明治19(1886)年、豊田在住の山口平太夫氏が製造した多摩地域最初のビールです。

区画整理に伴って行われた山口家の発掘調査で、ビールの貯蔵所の跡やラベル、貯蔵所を写した写真乾板などが発見され、石川酒造株式会社の協力でTOYODABEERが復刻されます。

日野産100%のTOYODABEERは数量限定ということで、手に入れるのは難しそうですが、味見したいですね。

11 市民プールオープン
12 市民文化祭
24 浅川アユまつり
今が旬ブルーベリーの摘み取り

平成30年(2018年)
7月1日号
1426号

130年の刻を経て、
機は熟された

日野産
大麦
100%

7月1日号広報ひの